

令和元年度「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」 提案事業の審査における委員の主な意見の概要

提案事業名	第1回 旭橋まつり
提案団体名	旭橋を祝う実行委員会
主な意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆企画への想いはよく伝わりますが、市民のニーズや事業の実効性に疑問が残ります。市民の関心度を高めるためにも、規模は小さくても事業を実施してみて、実績や参加者の反応に基づき企画を組み立てていってはいかががでしょうか。 ◆過去の企画提案時の課題やアドバイスを生かして準備しようとする努力が見られました。 ◆協働事業としてのあり方や協働に対する理解を深めるとともに、公金（市の負担金）を支出するに当たって実績の積み上げによる事業計画が必要であると感じます。 ◆「普段知ることのできない旭橋について知ることができる」という点をよりアピールされると良いと思います。 ◆企画内容に対しサポートスタッフが少なく、またこのままの予算では厳しいのではないかと感じます。 ◆プレゼンテーションでは、想いを語るだけでなく事業効果や得られる成果の可能性について具体的に伝えていただきたいと思います。

提案事業名	障がい者スポーツを通じて考える「誰にもやさしいまちづくり」
提案団体名	スポーツ交流で誰にもやさしい旭川を考える会
主な意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆PDCAの実施により出てきた課題に対し、解決に向けたイベント企画の修正に努力されています。 ◆参加者を運営側へ育てる仕組みができている点が高く評価されます。 ◆事業を継続していくために、事務局の人件費の計上も検討されてはいかがでしょうか。 ◆入念な準備と広報に努力され、参加者の満足度を高める事業となっています。次年度以降の活動も期待されます。 ◆2020年のパラリンピックとの関連性もあり、盛り上がるには十分な時期でもありますので、より一層活発な活動にしていいただければと思います。

令和元年度「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」 提案事業の審査における委員の主な意見の概要

提案事業名	分野横断によるフレイル予防を通じた健康長寿の街の実現
提案団体名	旭川フレイルプロジェクト
主な意見の概要	<p>◆学生団体から提案が挙がってくることは大変素晴らしいことだと思います。事業内容の具体化や予算の見直しを図った上で再チャレンジを期待しています。</p> <p>◆横断的な関係構築のグループワークから課題や対策の可視化が期待できるという点で、重要な取組であると感じました。</p> <p>◆魅力と可能性を感じる取組です。しかし、企画内容にはまだ不透明な部分も多く感じました。</p> <p>◆事業実施を通じて目指す具体的な目標、例えば「旭川版フレイルチェックシートをつくる」といった具体的発展性が見えるとより良いと思います。</p> <p>◆事業の継続という観点で、学生団体は入学・卒業で人員の入れ替わりが課題となるため、それを踏まえた資金確保方法等の工夫が必要であると感じました。</p> <p>◆地域包括支援センター等で取り組んでいる類似の既存事業との違いを説明されると良いと思います。</p>

提案事業名	住民参加型リノベーションによる空き家再生事業
団体名	Nest Asahikawa
主な意見の概要	<p>◆全国的にも課題となっている空き家対策、空き店舗の活用に対する新しい手法であり、さらに協働事業として市民参加型の視点が活かされる取組として期待されます。</p> <p>◆次世代の人や移住者に対しても提案できるプランだと思います。</p> <p>◆リノベーションの内容や過程、使用する建物の選択方法等についても分かりやすく示されると良かったと感じました。</p> <p>◆ただものづくりや作業を楽しむという活動にならないよう、リノベーションした建物の使い道や将来についてもしっかりと検討していただきたいと思います。</p> <p>◆利用者側のニーズ調査もあると、今後の見通しの参考になると思われます。</p> <p>◆起業から経営へ、本事業の継続とともに事業をきっかけとして起業した人の営業継続に向けた支援も期待されます。</p> <p>◆事業実施によって何が生まれるのかをより具体的に示す必要があると感じます。実施によりどれくらいの起業家が生まれたか等の結果にも期待を寄せています。</p>

令和元年度「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」 提案事業の審査における委員の主な意見の概要

提案事業名	七条緑道エコミュージアムづくり
提案団体名	緑道ワークス
主な意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民ニーズを踏まえ、これまでの活動で得られたノウハウを上手く取り入れた事業であると感じました。 ◆既存のアダプトプログラムによる取組との差別化や発展性、もう一步進んだ協力体制のあり方を期待しています。 ◆事業の実施主体は提案団体であるのに対し、委託費の額が大きい点が気になります。 ◆植樹した後の管理方法やランニングコストへの対応について、見通しなども示されると良かったと思います。 ◆事業自立化を目指すためにも、自主財源を獲得しつつ繰越金として将来へ積み立てていくなどの資金づくりも重要であると考えます。 ◆緑道というエリアのデザインについて、市民と市との想いや方向性をすり合わせながら進めていってほしいと思います。

提案事業名	旭山動物園を応援する「動物のいのちを繋ぐまちづくり」
提案団体名	繋ぐのは命プロジェクト
主な意見の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆2年間の実績を踏まえた成長が見られます。ただし、協働事業終了後の財源確保については引き続き検討を進めていってほしいと思います。 ◆活動を継続するために必要なものとして「お金」だけでなく「人」も重要なキーワードであると感じます。担い手の育成のため、参加する側から運営する側へ加わっていくようなしかけを作ると良いと思います。 ◆映画上映に基づくパネルディスカッションが目を引き、興味深いイベントが企画されていると感じました。 ◆動物の命という観点での教育は、このまちにとって大切だと感じます。 ◆動物園の意義を再認識するために「感謝を形にする」というのは良い案だと思えます。その上で、「動物の命をつなぐ街づくり」の手法、あるべき街の姿やイメージを具体的に示されると良いと思います。 ◆ホームページの運営は場合によっては活動の負担にもなり得ますので、継続的に更新できるよう無理のない仕組みづくりを検討されると良いと思います。